

# 羽村チャリティーコンサート ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団 HUGO WOLF TRIO WIEN

2010年10月12日(火)

18:30開場 19:00開演

羽村市生涯学習センター  
ゆとろぎ 大ホール

全席指定  
2,000円  
このチケット料は  
青少年健全育成の  
為に寄贈されます

未就学児は入場出来ません  
保育あり(有料・要予約)

- ドヴォルジャーク ピアノ三重奏曲 第4番 ホ短調 「ドゥムキー」作品90
- モーツァルト 幻想曲 ニ短調k.397
- ブラームス ハンガリー舞曲 第8番 イ短調
- 日本の歌より 五木の子守唄
- チャイコフスキー 花のワルツ 他

演奏家の都合によりプログラムは変更されることがあります。

主催／(財)青梅佐藤財団  
共催／羽村市教育委員会  
後援／青梅市教育委員会 福生市教育委員会  
あきる野市教育委員会 瑞穂町教育委員会  
日の出町教育委員会 檜原村教育委員会  
奥多摩町教育委員会  
協力／NPO法人 青梅の青少年を育てる会  
ゆとろぎ協働市民の会

[チケット取扱い・お問い合わせ]  
ゆとろぎ協働市民の会 042-570-0707 kyodo@hamura-tokyo.jp  
NPO法人 青梅の青少年を育てる会 090-5195-3030 npo-sodateru@t-net.ne.jp

チェロ／ラファエル・フリーダー

ヴァイオリン／ダニエル・ゲーデ

ピアノ／マリノ・フォルメンティ

撮影／井出恒雄

# ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団

## HUGO WOLF TRIO WIEN

2004年にウィーン・アルカディア・ピアノ四重奏団の一員として、日本で共演する機会を持ったマリノ・フォルメンティ、ダニエル・ゲーデ及びラファエル・フリーダーの3名の音楽家は、互いの音楽に対する真摯な姿勢に強く共感し、2007年1月ピアノ三重奏団を結成した。ソリストとして欧米を中心に目覚ましい活躍を続けるピアニスト、マリノ・フォルメンティ、名ヴァイオリニストとしてわが国でも著名な前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、ダニエル・ゲーデ、ウィーン・フィルでチェロの貴公子と呼ばれ、その美音を誇るチェロ奏者ラファエル・フリーダーの3名が紡ぎだす名曲の数々は、わが国の音楽愛好家の心を捉えてやまないであろう。



### ■マリノ・フォルメンティ

(Marino Formenti) ピアノ

北イタリアのミラノに生まれる。ミラノ音楽院にてピアノ及び指揮法と作曲を学んだ後、ウィーンに移り、オレグ・マイセンベルクとユヴォス・ラジョビックに師事し、ピアノと指揮にさらに研鑽を重ねる。ピアニストとしてザルツブルク音楽祭、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ウィーンコンツェルトハウス、ウィーン音楽週間、サントリーホール、チャイコフスキー音楽院、サンクトペテルスブルク管弦楽団、ロスアンジェルスLACMA等で演奏する。指揮者のインゴ・メツマッハー、シルヴァン・カンブルリング、ハンス・ゼンダーらと共に演奏活動を行う。またロッケンハウス音楽祭にギドン・クレメルと共にソリスト及び指揮者として出演し絶賛を博す一方現代音楽にも精通し、G・クルターク、F・ツェーハ、H・ラッハマン、S・ブゾツィらの作曲家と共に活動する。2004年にはクリーブランド交響楽団（指揮：フランツ・ウェザー＝メスト）に招かれ、オルガ・ニューワースのピアノ協奏曲を演奏、またソリストとしての活動はもとよりアンサンブル・クラングフォーラム・ウィーンのメンバーとして室内楽にも積極的に取り組んでいる。ここ数年の欧米における活躍は特筆すべきもので2007年3月にはザルツブルクのモーツァルトテウム大ホールでノーノとシュベルトの作品を演奏、4月には有名なサンフランシスコ・パフォーマンスにラン・ランやスーザン・グラハムらとともに初めて招待され3回のピアノ・リサイタルを行い、5月にはウィーン音楽祭でヤナーチェクのピアノ協奏曲を演奏。6月に行われた日本各地での初リサイタルも圧倒的な成功を収めた。そして11月にルツェルン音楽祭でのソロ・デビュー、2008年1月にはロスアンジェルス管弦楽団（指揮：エサ＝ペッカ・サロネン）に客演し、メシヤンの難曲「峡谷から星たちへ」を演奏、満員の聴衆から絶賛を浴び9回のカーテンコールに応えた。また同年6月、巨匠リッカルド・ムーティに招かれムーティの主催するラヴェンナ音楽祭にピアニスト兼指揮者として出演した。11月にはケント・ナガノ指揮ミュンヘン・フィルハーモニーと共演。2009年に現代音楽に対する貢献を称えられフォルベルク・シュナイダー財団よりベルモント賞を贈られる。10月指揮者としてミラノ・スカラ座、パリ及びローマにデビュー、共演者は世界最高のピアニスト、マウリッツォ・ポリーニ。11月にはグスタヴォ・デュダメル指揮、ロスアンジェルス・フィルハーモニー管弦楽団と3日間にわたり共演し絶賛を博した。2010年1月、ザルツブルク・モーツァルト週間に招かれダニエル・ハーディング指揮グスタフ・マーラー・ユゼント管弦楽団と共演した。



### ■ダニエル・ゲーデ

(Prof. Daniel Gaede) ヴァイオリン（前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター）

1966年にドイツのハンブルクに生まれる。6歳よりヴァイオリンを始め、83年ドイツ国内コンクール1等賞及びロンドンにおけるカール・フレッシュ国際コンクール優勝。1986年にはクラウディオ・アバドの主宰するEUユースオーケストラ、コンサート・マスターに就任。世界的な演奏活動を展開し1992年にはカーネギーホールにデビュー、ソリストとしてロイヤル・アルバート・ホール、バービカン・ホール、ウィーン楽友協会ホールで演奏、ウィーン・フィル、フィルハーモニア管弦楽団を初めとする著名オーケストラと共演する。室内楽奏者としてはゲーデ家の3兄弟でゲーデ・トリオを結成し現代音楽を含んだ多彩な演奏活動を展開し欧米及び日本でのTVラジオ出演多数。ドイツ・グラムフォン、ラルゴ等のレーベルよりCDをリリース。1991年より94年までベルリン芸術大学で教鞭をとり、2000年以降はニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授の要職にある。1994年から2000年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団でコンサート・マスターを務めた。わが国での演奏会出演も数多く、毎年、霧島国際音楽祭、軽井沢音楽祭及び芦ノ湖音楽祭に招かれ、多彩なコンサート活動の傍ら積極的に後進の指導にあたっている。



### ■ラファエル・フリーダー

(Raphael Flieder) チェロ（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団員）

1962年2月13日ウィーンに生まれる。ウィーン音楽院にてリヒャルト・マツシュカに師事後ジュネーブにてピエール・フルニエのもとで学ぶ。同時にベルリン・フィルハーモニー・オーケストラ・アカデミーでも研鑽を積む。1979年ジュネーブ国際音楽コンクールにて第3位入賞を果たす。1985年にはウィーンの名門オーケストラ、トンクュンストラ管弦楽団の首席チェロ奏者となる。1990年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団員となる。1991年より2001年までゲアハルト・イペラー（現ウィーン・ムジークフェライン管弦楽団四重奏団チェロ奏者）の後任としてウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団、2004年から2006年までウィーン・アルカディア・ピアノ四重奏団でチェロ奏者を務めた。現在ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団及びアリスト・トリオのチェリストとして日米欧で数多くの演奏会で活躍している。